

1. 科目名 (単位数)	心理学を活かしたキャリアデザイン (2単位)	3. 科目番号	PSMP1101
2. 授業担当教員	アカデミック・アドバイザー		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	<p>心理学部の学生は、心理学の各分野の理解を深めると共に、社会福祉、精神保健福祉、教育などの心理学近接領域におけるヒューマンサービスの実情を学び、それぞれの現場で心理学の知見を応用していくための基礎的な力を身につけることが期待されている。その背景には、心理学を学ぶ学生が、多様なキャリアを展開させることが想定されている。</p> <p>本科目では、改めて心理学部に入学したことを踏まえて、心理学を学ぶことの意義を考えながら、心理学を活かした職業やキャリアの多様性を学び、社会人として踏み出すための自己理解と、将来働く場についての理解を促す。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教養としての心理学の汎用性について理解できるようになる。 2. 心理学を学んだ者には多様なキャリアがあることを知る。 3. 自分にとっての働く意味を考え、どのような資格取得を目指すかについて決められるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分はなぜ進学したか、なぜ心理学を選んだのか、なぜ東京福祉大学を選んだのか 2. どのような仕事に就きたいのか。そのためにはどのような学生生活を送れば良いか 3. 受けた影響を踏まえて自分の価値観を見直して、どのように生きていきたいか 4. 自分の性格や価値観を踏まえた上で、どのような職業選択をしていきたいのか 5. 心理学を活かす職業、あるいは一般企業でどのように心理学をいかせるのか 6. 心理学を活かして、どのような人生設計をしたいか 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 なし</p> <p>【参考書】 宮城まり子『心理学を学ぶ人のためのキャリアデザイン』東京図書 (本学) 2023年履修要綱 (予定)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 授業やレポートを通して以下の3点について、理解を深めたかどうかを評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学問として心理学を学習するだけでなく、日常生活や就職にどのように生かせるのか考えることができる。 2. 心理学を学んだ者には多様なキャリアがあることを知る。 3. 自分にとっての働く意味を考え、どのような資格取得を目指すかについて決められるようになる。 <p>○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢40%、試験及び課題レポート60%で判断する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な態度で参加していただきたい。 ・不明な点は、授業時間のうちに質問していただきたい。 ・授業中の私語・携帯電話の使用は厳禁とする。 		
13. オフィスアワー	別途通知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ー初エンゲージメント/キャリアの意味ー ① シラバスの説明 ② キャリアとはどういうものか	事前学習	本学の履修要綱を熟読し、本学で取得できる資格について理解しておく。教科書 pp. 2 - 12 を読み、キャリアの意味について理解しておく。
		事後学習	キャリアの意味を踏まえて、自分はどのような価値観で生き、どのように仕事を位置付けていきたいのかについて考究する。
第2回	ー心理学部で取得できる国家資格の受験資格1ー ① 本学で取得できる資格についての理解 ② キャリア教育を行う意味 ③ 公認心理師の仕事と受験資格を得るために	事前学習	教科書 p. 13-17 を通読し、キャリア教育を行う意味について理解しておく。また、インターネット等で、公認心理師はどのような資格なのかについて調べておく。
		事後学習	公認心理師の仕事や受験資格取得のためのカリキュラムを理解するとともに、自分に合っている仕事・勉強なのか考究する。
第3回	ー心理学部で取得できる国家資格の受験資格2ー 精神保健福祉士や社会福祉士の仕事とはどういうものか。そして、受験資格を得るためのカリキュラムや実習はどのようなものか	事前学習	インターネット等で、精神保健福祉士や社会福祉士はどのような資格なのかについて調べておく。
		事後学習	精神保健福祉士や社会福祉士の仕事や受験資格取得のためのカリキュラムを理解するとともに、自分に合っている仕事・勉強なのか考究する。
第4回	ー自己理解1ー 影響を受けた人・出来事ー ① キャリアデザインとは何か ② 影響を受けた出来事・人 ③ メンタープロテージ	事前学習	教科書 pp. 18-38 を熟読し、自分に影響を与えた人について考える。
		事後学習	他者から受けた影響を踏まえて自分の価値観を見直して、どのように生きていきたいかについて考究する。

第5回	<p>ー心理学を学ぶ意義ー</p> <p>① 世の中の事件事故には、どのような心が隠れているのか</p> <p>② 心理学を学ぶ意義は何か</p>	事前学習	教科書 pp. 40-52 を熟読し、心理学を学ぶ意義について考える
		事後学習	特に何となく心理学を専攻した人は、自分にとってどのような意義があるのかについて考える。
第6回	<p>ー自己理解2 自分の性格ー</p> <p>① キャリア形成のために、自己理解がなぜ大切なのか。</p> <p>② エゴグラムを使って自分の性格について理解を深める</p>	事前学習	教科書 pp. 53-67 を通読しておく。心理テストについては授業で行うので事前に行く必要はない。
		事後学習	エゴグラムの考え方を使って、周囲の人の性格を推測してみる。
第7回	<p>ー自己理解3 自分の価値観ー</p> <p>① ホランダの六角形モデル</p> <p>② キャリアアンカー</p> <p>③ 価値観</p>	事前学習	教科書 pp. 67-76 を通読しておく。ただし、ワークシート等は授業で行う。
		事後学習	自分の性格、職業適性、仕事を選ぶ時の価値観の3つについてそれぞれを関連させながら、自己理解を深める。
第8回	<p>ー自己理解のまとめー</p> <p>これまでのワークを総合して、「影響を受けた人・出来事」「自分の性格」「職業適性」「仕事への価値観」「自分の強み・弱み」「キャリア年表」を材料にして、どのような仕事に就きたいのか。そのためにはどのような学生生活を送れば良いか</p>	事前学習	教科書 pp. 77-76 を通読しておく。ただし、ワークシート等は授業で行う。
		事後学習	自分の性格、職業適性、仕事を選ぶ時の価値観の3つについてそれぞれを関連させながら、自己理解を深める。
第9回	<p>ー心理学を活かす仕事とはー</p> <p>① 宿題を基にしてディスカッション</p> <p>② 心理学を活かせる職業、一般企業で役に立つ心理学</p>	事前学習	教科書 pp. 84-88 を熟読し、心理学を勉強することで活かせることについて考える。
		事後学習	心理学を活かせる職業、一般企業で役に立つ心理学について理解を深める。
第10回	<p>ー心理学を学ぶとこんないいことが（社会で役に立つ心理学）1ー</p> <p>心理学実験、言語・学習心理学、認知心理学</p>	事前学習	取り扱う心理学について、シラバスの概要に目を通しておく。
		事後学習	学んだ内容について、なぜ心理学部で学習するのかについてあらためて考える。
第11回	<p>ー心理学を学ぶとこんないいことが（社会で役に立つ心理学）2ー</p> <p>発達心理学、教育・学校心理学、家族心理学</p>	事前学習	取り扱う心理学について、シラバスの概要に目を通しておく。
		事後学習	学んだ内容について、なぜ心理学部で学習するのかについてあらためて考える。
第12回	<p>ー心理学を学ぶとこんないいことが（社会で役に立つ心理学）3ー</p> <p>社会心理学、臨床心理学、障害児・者の心理</p>	事前学習	取り扱う心理学について、シラバスの概要に目を通しておく。
		事後学習	学んだ内容について、なぜ心理学部で学習するのかについてあらためて考える。
第13回	<p>ー心理学を学ぶとこんないいことが（社会で役に立つ心理学）4ー</p> <p>福祉心理学、心理アセスメント、健康・医療心理学</p>	事前学習	取り扱う心理学について、シラバスの概要に目を通しておく。
		事後学習	学んだ内容について、なぜ心理学部で学習するのかについてあらためて考える。
第14回	<p>ー心理学を学ぶとこんないいことが（社会で役に立つ心理学）5ー</p> <p>産業・組織心理学、司法・犯罪心理学、感情・人格心理学</p>	事前学習	取り扱う心理学について、シラバスの概要に目を通しておく。
		事後学習	学んだ内容について、なぜ心理学部で学習するのかについてあらためて考える。
第15回	<p>ーまとめー</p> <p>14回の授業を通して、これから将来に向かってどのような大学生活を送っていききたいのかについて考える</p>	事前学習	教科書 pp. 88-105 まで通読し、これまで学習した内容を振り返り、どのように大学生を送っていくかについて考える。
		事後学習	これまでの授業を他の人たちはどのようにとらえているのかを参考にしながら、あらためて自分の大学生活をどうするのかについて考究する。